

I . 調査の概要

I. 調査の概要

1. 調査目的

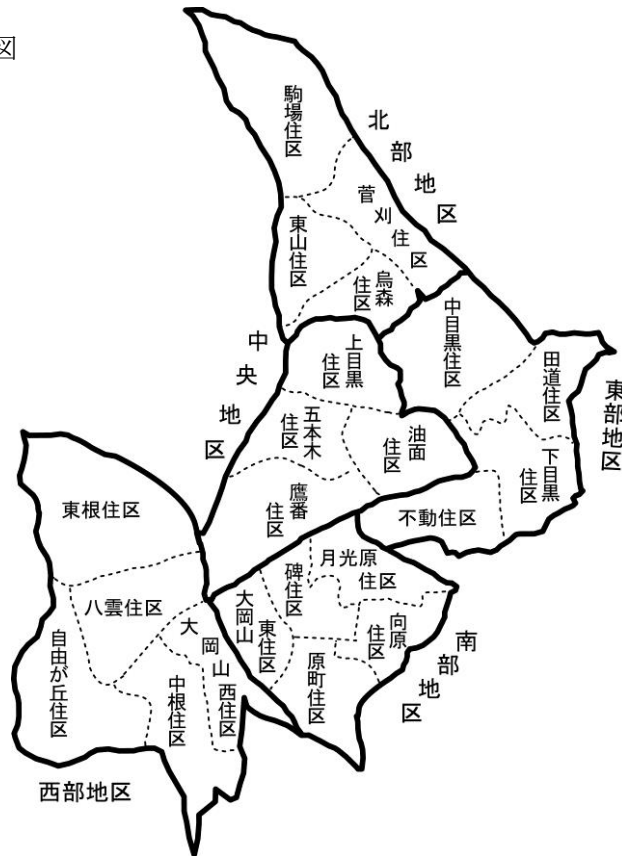
本調査は、区民意識を把握し、目黒区基本構想及び目黒区基本計画の改定を行うにあたっての基礎資料とすることを目的として実施したものである。

2. 概要

概 要	
調査方法	・ 郵送による調査票配布 ・ 郵送または電子申請による無記名回収
実施期間	平成 30 年 12 月 5 日（水）～ 平成 30 年 12 月 25 日（火）
調査対象	目黒区在住の満 18 歳以上の男女
抽出台帳	住民基本台帳
抽出方法	層化無作為抽出法
調査票配布数	3,000 部
回収結果	< 郵送による回収総数 > 734 部（うち全設問白紙 8 部） < 電子申請による回収数 > 131 件
有効回収数	857 件（集計・分析サンプル数）回収率：28.6%
報告書内 留意点	・ 比率は全て百分率で表し、小数点第 2 位を四捨五入して算出しているため、百分率の合計が 100%にならないことがある。 ・ 調査結果において無回答のものは、便宜上、選択番号を「99」としている。 ・ グラフ及び集計表における選択肢の文章は、一部省略している場合がある。 ・ 集計母数が 20 に満たない項目は、分析の対象とはしない。 ・ グラフ中、4.0 未満のデータラベルは、表示しない。

3. 地区区分

【図表 I - 1】地区区分図



【図表 I - 2】地区・住区・町丁目対応表

地区	住区	区 域
北 部	駒場住区	駒場 1～4 丁目、大橋 2 丁目の一部
	菅刈住区	青葉台 1～4 丁目、大橋 1 丁目、上目黒 1 丁目の一部
	東山住区	東山 1 丁目の一部、同 2・3 丁目、上目黒 5 丁目の一部、大橋 2 丁目の一部
	烏森住区	東山 1 丁目の一部、上目黒 2・3・5 丁目の各一部
東 部	中目黒住区	上目黒 1～3 丁目の各一部、中目黒 1～3 丁目、同 4・5 丁目の各一部
	田道住区	三田 1・2 丁目、目黒 1 丁目、同 2・3 丁目の各一部、中目黒 4 丁目の一部
	下目黒住区	目黒 2・3 丁目の各一部、下目黒 1～3 丁目
	不動住区	下目黒 4～6 丁目、目黒本町 1 丁目
中 央	上目黒住区	上目黒 4 丁目、中目黒 5 丁目の一部、五本木 1 丁目、祐天寺 1・2 丁目
	油面住区	中目黒 5 丁目の一部、目黒 4 丁目、中町 1 丁目、同 2 丁目の一部
	五本木住区	五本木 2・3 丁目、中央町 2 丁目、中町 2 丁目の一部
	鷹番住区	中央町 1 丁目、碑文谷 5・6 丁目、鷹番 1～3 丁目
南 部	月光原住区	目黒本町 2・4 丁目、同 3・5・6 丁目の各一部
	向原住区	目黒本町 3・5・6 丁目の各一部、原町 1 丁目
	碑住区	碑文谷 1・2 丁目、目黒本町 6 丁目の一部
	原町住区	原町 2 丁目、洗足 1・2 丁目、南 1 丁目
	大岡山東住区	南 2 丁目、碑文谷 3・4 丁目
西 部	大岡山西住区	南 3 丁目、平町 1 丁目、同 2 丁目の一部、大岡山 1 丁目の一部
	中根住区	大岡山 1 丁目の一部、同 2 丁目、緑が丘 1・3 丁目、中根 2 丁目、平町 2 丁目の一部
	自由が丘住区	緑が丘 2 丁目、自由が丘 1～3 丁目、八雲 3 丁目、中根 1 丁目の一部
	八雲住区	柿の木坂 1 丁目、八雲 1・2 丁目、中根 1 丁目の一部
	東根住区	柿の木坂 2・3 丁目、八雲 4・5 丁目、東が丘 1・2 丁目

4. 標本誤差

標本誤差とは、標本調査を行う場合に、それに伴って生じる特有の誤差のことを言う。母集団から標本（サンプル）を抽出する過程、およびその標本値から全体の結果を推測する過程で、母集団と標本値の間に分散やかたよりなどによる誤差が生じる。これらの標本誤差は標本の数や抽出の確率化によって数量的に検出が可能であり、それによって標本値の精度が計測できる。

本調査の回答結果から、母集団（目黒区在住の満18歳以上の男女）全体の比率を推定するため、無作為抽出法における標本誤差の算出式と本調査の早見表を示した。

【標本誤差算出式】

■信頼係数95%の場合

$$\pm 1.96 \sqrt{(p \times (1 - p) / n)}$$

■信頼係数99%の場合

$$\pm 2.58 \sqrt{(p \times (1 - p) / n)}$$

p	=	回答比率
n	=	比率算出の基数 (標本数=サンプル数)

【標本誤差早見表】（標本数：857）

信頼度 \ 回答比率 (p)	10%または90%前後	20%または80%前後	30%または70%前後	40%または60%前後	50%前後
信頼度95%	± 2.0	± 2.7	± 3.1	± 3.3	± 3.3
信頼度99%	± 2.6	± 3.5	± 4.0	± 4.3	± 4.4

■早見表の見方

この表は、ある設問の回答者数（標本数n）が857人であり、その設問中の選択肢の回答比率が30%であった場合、その回答比率の母集団数（目黒区在住の満18歳以上の男女の全体数）との誤差の範囲は、信頼度95%の場合は最大で±3.1%以内であり、信頼度99%の場合は最大で±4.0%以内ということを表している。

（例）

「地域で支え合う福祉活動」という施策に対して、この施策は「重要である」と回答した人が、全体（n=857）の31.0%であった。

この場合、各信頼度の標本誤差を補正すると、「重要である」と回答した人は、27.9%から34.1%の間にあることが95%の信頼度で言え、27.0%から35.0%の間に範囲を広げると99%の信頼度でこの間にあると言える。

5. 回答者の属性

- ・性別は、男性が 38.7%、女性が 60.6%（無回答 0.7%）という結果になった。
- ・年代は、30 歳代～70 歳代まで、ほぼ均等の割合となったが、40 歳が最も多く 19.6%、50 歳代が 17.6%、30 歳代が 16.4%、70 歳代が 15.8%、60 歳代が 14.9%と続いている。
- ・居住地区は、大きなバラつきは見られず、西部地区が 23.8%、続いて中央地区が 21.1%、南部地区が 20.3%となっている。
- ・婚姻状況については、既婚（配偶者あり）が最も多く半数近くの 48.9%、未婚は 30.7%であった。
- ・既婚者（配偶者あり）における就業状況については、「共働き」と「共働きではない」が、ほぼ半数という割合になっており、「共働きではない」が 51.1%、「共働き」が 48.9%という結果になった。
- ・家族構成は、「親と子（2世代世帯）」が最も多く 36.9%、「ひとり暮らし世帯」（28.9%）、「夫婦のみの世帯」（23.0%）と続いている。
- ・「ひとり暮らし世帯」以外の同居者については、20 歳未満の子ども 65 歳以上の家族もいない世帯が、最も多く 34.1%だったが、次に多いのは、「65 歳以上の家族がいる」（30.7%）だった。
- ・居住年は 20 年以上が、最も多く 48.5%、続いて 5 年未満が 20.8%という結果になった。

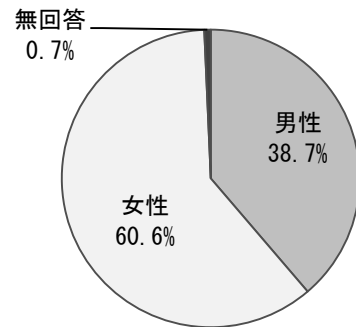
（1）性別

【図表 I-3】

n=857

	選択肢	回答数	割合(%)
	計	857	100.0
1	男性	332	38.7
2	女性	519	60.6
99	無回答	6	0.7

【グラフ I-1】 n=857



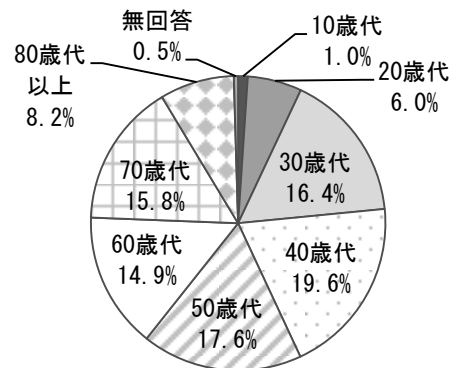
（2）年代

【図表 I-4】

n=857

	選択肢	回答数	割合(%)
	計	857	100.0
1	10歳代	9	1.0
2	20歳代	51	6.0
3	30歳代	141	16.4
4	40歳代	168	19.6
5	50歳代	151	17.6
6	60歳代	128	14.9
7	70歳代	135	15.8
8	80歳代以上	70	8.2
99	無回答	4	0.5

【グラフ I-2】 n=857



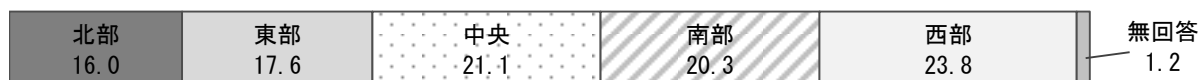
(3) 居住地区

【図表 I-5】

n=857

	選択肢	回答数	割合(%)
	計	857	100.0
1	北部 (駒場1~4丁目、大橋2丁目の一部、青葉台1~4丁目、大橋1丁目、上目黒1丁目の一部、東山1丁目の一部、同2・3丁目、上目黒5丁目の一部、大橋2丁目の一部、東山1丁目の一部、上目黒2・3・5丁目の各一部)	137	16.0
2	東部 (上目黒1~3丁目の各一部、中目黒1~3丁目、同4・5丁目の各一部、三田1・2丁目、目黒1丁目、同2・3丁目の各一部、中目黒4丁目の一部、目黒2・3丁目の各一部、下目黒1~3丁目、下目黒4~6丁目、目黒本町1丁目)	151	17.6
3	中央 (上目黒4丁目、中目黒5丁目の一部、五本木1丁目、祐天寺1・2丁目、中目黒5丁目の一部、目黒4丁目、中町1丁目、同2丁目的一部分、五本木2・3丁目、中央町2丁目、中町2丁目的一部分、中央町1丁目、碑文谷5・6丁目、鷹番1~3丁目)	181	21.1
4	南部 (目黒本町2・4丁目、同3・5・6丁目の各一部、目黒本町3・5・6丁目の各一部、原町1丁目、碑文谷1・2丁目、目黒本町6丁目的一部分、原町2丁目、洗足1・2丁目、南1丁目南2丁目、碑文谷3・4丁目)	174	20.3
5	西部 (南3丁目、平町1丁目、同2丁目的一部分、大岡山1丁目的一部分、大岡山1丁目的一部分、同2丁目、緑が丘1・3丁目、中根2丁目、平町2丁目的一部分、緑が丘2丁目、自由が丘1~3丁目、八雲3丁目、中根1丁目的一部分、柿の木坂1丁目、八雲1・2丁目、中根1丁目的一部分、柿の木坂2・3丁目、八雲4・5丁目、東が丘1・2丁目)	204	23.8
99	無回答	10	1.2

【グラフ I-3】 (単位: %) n=857



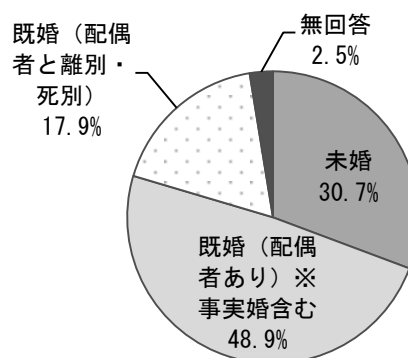
(4) 婚姻状況

【図表 I-6】

n=857

	選択肢	回答数	割合(%)
	計	857	100.0
1	未婚	263	30.7
2	既婚 (配偶者あり) ※事実婚含む	419	48.9
3	既婚 (配偶者と離別・死別)	153	17.9
99	無回答	22	2.5

【グラフ I-3】 n=857



(5) 就業状況

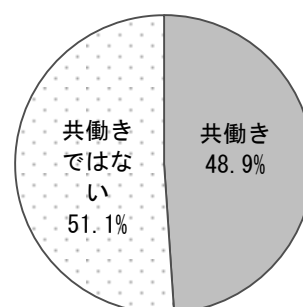
【図表 I-7】

n=419

	選択肢	回答数	割合(%)
	計 (既婚の配偶者あり者)	419	100.0
1	共働き	205	48.9
2	共働きではない	214	51.1
99	無回答	0	0.0

【グラフ I-4】 n=419

※既婚 (配偶者あり)



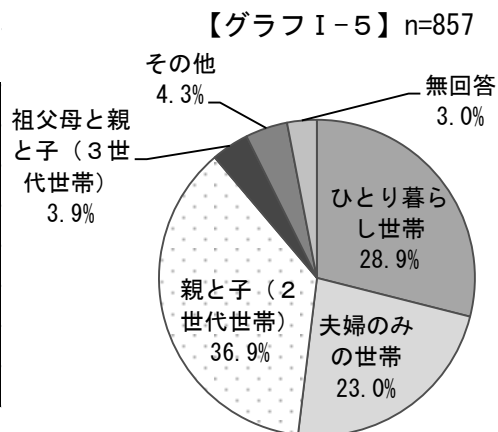
(6) 世帯構成

①全体

【図表 I-8】

n=857

	選択肢	回答数	割合(%)
	計	857	100.0
1	ひとり暮らし世帯	248	28.9
2	夫婦のみの世帯	197	23.0
3	親と子(2世代世帯)	316	36.9
4	祖父母と親と子(3世代世帯)	33	3.9
5	その他	37	4.3
99	無回答	26	3.0



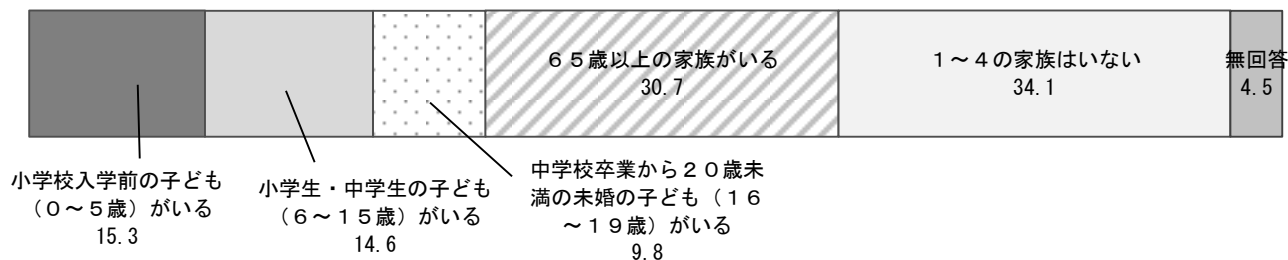
②ひとり暮らし世帯以外(同居者)

【図表 I-9】

n=583

	選択肢	回答数	割合(%)
	計(ひとり暮らし世帯以外)	635	
1	小学校入学前の子ども(0~5歳)がいる	89	15.3
2	小学生・中学生の子ども(6~15歳)がいる	85	14.6
3	中学校卒業から20歳未満の未婚の子ども(16~19歳)がいる	57	9.8
4	65歳以上の家族がいる	179	30.7
5	1~4の家族はいない	199	34.1
99	無回答	26	4.5

【グラフ I-6】 (単位: %) n=583



(7) 居住年数

【図表 I-10】

n=857

	選択肢	回答数	割合(%)
	計	857	100.0
1	5年未満	178	20.8
2	5~9年	97	11.3
3	10~19年	156	18.2
4	20年以上	416	48.5
99	無回答	10	1.2

【グラフ I-7】 n=857

